

製品名: Frizzled 9 / CD349 (1507) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11138**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	64kDa

抗原情報

遺伝子名	FZD9
別名	CD349; frizzled-9; Fz-9; FZD3; FzE6
遺伝子 ID	8326.0
SwissProt ID	O00144
免疫原	ヒト Frizzled 9 の合成ペプチド

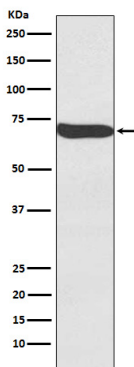
背景

Wnt タンパク質受容体。frizzled 受容体のほとんどは、 β -カテニンの標準シグナル伝達経路に結合しており、disheveled タンパク質の活性化、GSK-3 キナーゼの阻害、 β -カテニンの核内蓄積、Wnt 標的遺伝子の活性化につながる。WNT2 受容体は β -カテニンの標準シグナル伝達経路に結合しており、disheveled タンパク質の活性化、GSK-3 キナーゼの阻害、 β -カテニンの核内蓄積、Wnt 標的遺伝子の活性化につながる（類似性による）。 β -カテニンの標準シグナル伝達経路を介してアセチルコリン受容体（AChR）のクラスター形成を負に制御することにより、神経筋接合部（NMJ）の組み立てに関与する（類似性による）。 β -カテニンの標準的なシグナル伝達経路を介して神経前駆細胞（NPC）の生存に関与する可能性があり、細胞周期停止を負に制御することでニューロンのアポトーシス過程を阻害する（PubMed:27509850）。海馬の発達過程においては、神経芽細胞の増殖とアポトーシスによる細胞死を制御する。ISG15 を介した非標準的な Wnt シグナル伝達を介して骨形成を制御する。非標準的な Wnt シグナル伝達を介して骨再生を正に制御する（類似性に基づく）。

研究分野

WNT、WNT-T 細胞、メラニン生成、がんの経路、大腸がん、基底細胞がん

画像データ



ヒト精上皮腫溶解液中の Frizzled 9 発現のウェスタン プロット分析。